

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	健康づくりセンター保健施設管理運営業務委託事業		基本目標	持続可能な財政基盤の構築		
担当課(局)・係	健康福祉課	健康推進係	記入者	鳥取 真弓	評価者	井上 敏郎
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください					
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)				

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	健康づくりセンターを利用しようとする住民										
	意図・目的	住民が時間外や休日に健康づくりセンターを利用できるようにする。										
事業の内容	委託料を月額固定制から実績に基づく出来高払いとし、平成20年度からは使用申請時間の前後30分を含めた時間の委託とする。以後、継続中。											
22年度決算額		331	千円	23年度予算額	662	千円	事業従事者数	H22	人	H23	人	
主な支出項目	委託料	331	千円	国庫支出金		千円	22年度人件費	0			千円	
			千円	県支出金		千円	23年度人件費	0			千円	
			千円	地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)		100.0	%		
			千円	一般財源	662	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください					
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助		補助事業名									
	補助交付団体		補助金要綱									
	22年度	補助額	#N/A	円	補助の形態	#N/A	23年度補助額		円	終期		年度
		団体の決算額	#N/A	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等							
補助の割合		#N/A	%									
	繰越額	#N/A	円									

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか	
	1 管理委託時間	最小限の委託時間にする事で、委託料が削減できる。	
	2		
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に	
	1 管理委託件数	住民の時間外及び休日の施設利用件数	
	2		
	3		

◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度
成果指標	管理委託時間	目標値			
		実績値	時間	669	407
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標	管理委託件数	目標値			
		実績値	件	200	112
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
0	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

事務事業名	健康づくりセンター保健施設管理運営業務委託事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	-------------------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数		
		自己評価	委員評価	
(必要性)	事業廃止すると、時間外及び休日の施設利用ができなくなり、利用者の不利益につながる。また、公的施設であるので町が管理運営することが妥当である。	◎目的からして町が行うべきか	2	-
		◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	0	-
		◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
		◎事業廃止による影響があるのか	2	-
(有効性)	管理人を置くことで、住民の時間外及び休日の施設利用が可能である。	◎目標に対して成果は得られているか	2	-
		◎すでに目的は達成されていないか	0	-
(効率性)	必要最小限の委託時間となっているので、これ以上の削減は難しい。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	1	-
		◎費用対効果が十分に認められるか	1	-
(協働性)	なし	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	0	-
		合計(最高18点)	10	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公益性)		◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		-
		◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		-
		◎町民の理解が得られる事業であるか		-
		合計(最高4点)	0	-
その他				

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	休日・夜間の管理業務は必要不可欠であり、費用対効果の面で委託が望ましい。	今後の方向性			
			事業の方向性	拡充	現状維持	縮小
				○		
						コスト

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎今後もシルバー人材センターを活用して、最小限の費用で最大限の効果をあげてほしい。 ◎事業運営等は、指定管理者制度への移行など、よく研究して進めてほしい。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	